



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田 元 照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第 **159** 号

平成30年
3月15日
発行

永年勤続者表彰式 新年交礼会

平成30年1月22日(月)ホテル札幌ガーデンパレスにて永年勤続者表彰式、新年交礼会が開催されました。前田元照札私幼会長の挨拶の後、永年勤続者表彰式が行われ、今年は30年勤続者4名、20年勤続者18名、10年勤続者38名が表彰され、受賞者を代表して札幌みづほ幼稚園園長の須合國彦先生よりご挨拶がありました。

引き続き行われた新年交礼会では、札幌市副市長 岸光右様、北海道私立幼稚園協会会長 川畠教孝様、札幌市私立幼稚園振興議員連盟会長 三上洋右様よりご祝辞を頂き、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長 小林邦章様の祝杯のご発声により祝宴が始まりました。そのほか、衆議院議員 船橋利実様、前衆議院議員 高木宏壽様、一般社団法人札幌市私立保育園連盟会長 菊地秀一様からもテーブルスピーチをして頂きました。



とても和やかな雰囲気の中、受賞された先生方の中には久しぶりの再会を喜ぶ姿もあり、親睦を深めながら楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



札私幼ホームページが新しくなりました

札私幼ホームページが昨年12月よりリニューアルされました。30年度からは、研修申し込みがHPから可能になる予定です。また、スマートフォン対応となり簡単に閲覧することができます。札私幼の研修や委員会開催日などは、札私幼スケジュールのページで確認することができます。

加盟園一覧のページの幼稚園情報に間違いがないかご確認ください。訂正箇所がある場合は、事務局まで連絡をお願いいたします。

永年勤続表彰受賞者

✿ 勤続30年表彰 (園番号順)

4名



渡部 律子

(認定こども園 札幌大谷幼稚園)

北村 幸江

(篠路光真幼稚園・里塚幼稚園)

須合 國彦

(札幌みづほ幼稚園)

山上 啓治

(札幌梅香幼稚園)

✿ 勤続20年表彰 (園番号順)

18名



中里 泰子

(札幌大谷第二幼稚園)

高源 希葉子

(認定こども園 札幌大谷幼稚園)

坂尻 真紀

(札幌いづみ幼稚園)

小松 希

(札幌北幼稚園)

森 友美

(そうせい幼稚園)

笹川 舞子

(百合が原幼稚園)

戴岸 美保

(ふしこ幼稚園)

西山 智英子

(あゆみ幼稚園)

小野寺 由紀

(しろいし幼稚園)

佐賀 高志

(認定こども園 いちい幼稚園・保育園)

船越 真代

(認定こども園 新さっぽろ幼稚園・保育園)

佐々木 瑠美

(認定こども園 なかのしま幼稚園)

宮本 美紀

(つきさむ幼稚園)

佐賀 尚子

(札幌梅香幼稚園)

菊地 梓

(認定こども園 山王幼稚園)

市原 こずえ

(認定こども園 山王幼稚園)

櫻井 美紀

(認定こども園 山王幼稚園)

長山 梨恵

(認定こども園 星の子幼稚園)

勤続10年表彰 (園番号順)

41名



- 白 取 桃 子
(大通幼稚園)
- 田 村 ちあき
(大通幼稚園)
- 會曾川 里 紗
(認定こども園 つぼみ幼稚園)
- 東 由香里
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 下 重 絵里子
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 上 田 瑞 奈
(新琴似育英幼稚園)
- 吉 野 幸 恵
(認定こども園 つよし幼稚園)
- 飯 田 愛 実
(そうせい幼稚園)
- 鈴 木 香 澄
(百合が原幼稚園)
- 曾 根 果
(あいの里大藤幼稚園)
- 岡 本 桃 子
(聖ミカエル幼稚園)
- 佐 藤 忠 志
(聖ミカエル幼稚園)
- 伊 藤 美 樹
(あゆみ幼稚園)
- 三 根 加奈代
(札幌あかし幼稚園)

- 安 住 唯
(本郷幼稚園)
- 田 崎 裕 香
(札幌白樺幼稚園)
- 大 崎 翼
(認定こども園 いちい幼稚園・保育園)
- 沖 口 知 世
(認定こども園 新さっぽろ幼稚園・保育園)
- 伊 藤 圭 介
(認定こども園 桜台いちい幼稚園・保育園)
- 須 藤 絵里奈
(札幌第一幼稚園)
- 境 田 彩 香
(札幌第一幼稚園)
- 斉 藤 千 尋
(札幌第一幼稚園)
- 芝 木 孝 満
(認定こども園 なかのしま幼稚園)
- 佐々木 暁
(認定こども園 なかのしま幼稚園)
- 山 田 絵 美
(平岸幼稚園)
- 黒 沼 武 次
(平岸幼稚園)
- 岩井川 亜 澄
(札幌ゆたか幼稚園)
- 高 松 弥 生
(澄川幼稚園)

- 前 手 孝 敏
(札幌わかさ幼稚園)
- 高 橋 美 紀
(インターナショナル山の手幼稚園)
- 下川原 紘 未
(あづま幼稚園)
- 菊 地 さより
(平和幼稚園)
- 小清水 麻 衣
(認定こども園 星の子幼稚園)
- 吉 田 麻実子
(認定こども園 星の子幼稚園)
- 江 崎 留 美
(認定こども園 星の子幼稚園)
- 坂 上 めぐみ
(認定こども園 星の子幼稚園)
- 濱 田 久美子
(富丘つくし幼稚園)
- 松 田 定 信
(松葉幼稚園)
- 加 藤 智香子
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 田 宮 恭 子
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 末 永 歩
(認定こども園 新琴似幼稚園)

平成29年度代表者会議・札私幼臨時総会

2月20日(火)午後2時30分からホテル札幌ガーデンパレスにて平成29年度の代表者会議及び札私幼臨時総会が開かれました。

代表者会議は中村副会長の進行で始まり札私幼各委員長の活動報告が振興・研究・広報・認定こども園の順に述べられました。

3時から「幼稚園における2歳児受け入れと無償化の今後の展望」について今回も日程調整をして頂き、文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官大野雅史氏を講師に迎えて45分間のご講演の後札私幼前田会長と丸谷副会長が加わり最新情報の確認を交えながら進められ会員の方々の質問や要望にも丁寧に応じてくださる大野専門官の姿がありました。

その後休憩を挟み午後4時30分過ぎから臨時総会が丸谷副会長の「開会の言葉」でスタートしました。前田会長の挨拶の後、来賓のご挨拶を札幌市私立幼稚園PTA連合会会長小林邦章様に頂きました。来賓として札幌市私立幼稚園振興議員連盟の宮村市議会議員、長内市議会議員、小嶋市議会議員、公認会計士高野一夫氏の方々がご臨席くださり相良振興委員長より定足数の確認が行われ(138園中106園の出席)本総会は成立しているとの旨の報告があり、議長に厚別区北光幼稚園北川園長先生を選出、議事録署名人に東区あゆみ第二幼稚園花香園長先生・中央区札幌いづみ幼稚園杉原園長先生の両名が指名され議事に入りました。

議案第1号平成30年度事業計画案について各委員会(総務・振興・研究・広報・認定こども園)の委員長より示され原案通り承認されました。

議案第2号平成30年度収支予算案については坂本事務局長から増減のある科目等経過説明があり原案通り承認されました。

議案第3号その他として、5月18日(金)の定時総会で現会長は任期満了になりますが、会長候補予定者として前田会長の再任が理事会で承認されたことについて丸谷副会長から報告がありました。定時総会に人事案件として正式提案されます。

議長がすべての議案が審議終了したことを告げて退任しました。

総会の結びとして敷副会長が閉会の言葉の中で「世の中が変わり幼児教育も変化していますが新制度に一喜一憂せずにこれからの10年20年先を見通しながら長いスパンで幼児教育に取り組んでいきましょう。」とお話をされ滞りなく終えた臨時総会でした。



平成30年度札幌市予算(私立幼稚園関係)

昨年11月9日の予算要望以降、札私幼執行部は、前田会長を中心に子ども未来局と予算折衝を行ってきました。補助金の拡充には至りませんでした。一時預かり事業等の仕組みにおいて、国基準を踏襲するよう、引き続き粘り強く交渉を続けています。

①「子育て安心プラン」に基づく一時預かり事業の充実

30年度から、幼稚園のまま、保育を必要とする2歳児(3号認定子ども)を定期的に預かる仕組みができます。補助単価は、基本分として子ども1人日額1,850円、長時間加算として1時間当たり230円という額が国から示されていますが、札幌市の補助単価がこの基準を下回ることがないように申し入れています。また、3～5歳児に対する預かり保育の推進を図るため、長時間(8時間超)の加算単価も、国基準に従い1.5倍に増額するよう要求しています。さらに、一時預かりの事務負担に対応するため、1施設当たり年額138万円という加算が新たに創設されましたが、札幌市においてもこの加算を設定するように要望しています。札幌市は、

各園に意向調査等を行い、実施の有無や実施要件を検討して最終的に判断したいとしています。

②その他

教材教具等整備費補助金、札私幼への研修費等補助金は、現行水準を維持することができました。また、幼児教育の無償化に向けた段階的取組として、年収約360万円未満相当世帯(c階層)の保護者負担は、第1子で年額48,000円(国基準)軽減されます。これにより、札幌市の就園奨励費は、c階層の第1子で48,000円増額されます。一方、新制度の1号認定の利用者負担額についても4,000円の減額を求めましたが、札幌市のc階層の利用者負担額が国基準の64%程度であることから、減額幅も4,000円の64%程度にするという説明を受けました。幼児教育無償化に向けて、今後、札幌市でも様々な問題が浮かび上がってくることが想定されます。会員園の皆様と情報を共有しながら、課題の一つ一つ向き合い、札幌市と協議の場を持ち続けていきます。予算要望、予算折衝へのご支援、ありがとうございました。

第37回政令指定都市私立幼稚園団体協議会 さいたま協議会

政令指定都市20都市すべての私立幼稚園団体が加盟する政令指定都市私立幼稚園団体協議会のさいたま協議会が、2月1日(木)、2日(金)の2日間、さいたま市内のパレスホテル大宮で行われました。札私幼からは、前田会長、丸谷副会長、藪副会長、中村副会長、政令運営委員の前鼻先生が出席し、各都市との情報交換を行いました。

1日目

「働き方改革」という言葉が日常会話で使われるようになりましたが、幼児教育の世界でも、「より働きやすく」「より働きがいのある」職場づくりは大きな課題です。講演「職場環境の改善について」は、株式会社ワーク・ライフバランスの二瓶美紀子氏より、業務改善のポイント、効率的な会議運営、組織づくりなどについて示唆をいただきました。また、特別講演「幼児教育無償化について」は、衆議院議員で内閣府大臣政務官の村井英樹氏より、幼児教育無償化の議論の経緯と今後の展望について説明がありました。

2日目

「幼稚園教諭採用の現状と今後の課題について」とい

うテーマで、開催都市さいたま市の発表に続き、各都市の情報交換が行われました。首都圏では、独自に手当を支給する株式会社の保育園に就職する学生が多く、しかも5月頃には内定が出るそうで、特に私学助成の私立幼稚園は採用に苦労しているそうです。また、就職フェアや養成校との懇談会以外の取組を始めている都市もあり、学生対象の私立幼稚園見学バスツアー、資格を持った潜在保育者向けのセミナー、インターンシップの受入れ、幼稚園団体としての人材バンクなど、参考になる事業がありました。札幌の私立幼稚園・認定こども園でも、人材確保は厳しくなる一方です。民間の派遣業者に頼らなくても採用がスムーズに進むよう、札私幼では、30年度以降、総務委員会や振興委員会を中心に、新たな人材確保事業について検討していく予定です。



第2回「リーダー“力”スキルアップ講座」

1月26日(金)、第2回「リーダー“力”スキルアップ講座」がエルプラザで行われました。今回は、鳴門教育大学 教職大学院 教授 木下光二氏をお招きし、またパネラーとして山鼻小学校 校長 磯島年成先生に来て頂き、『改訂の趣旨を踏まえた幼稚園教育要領から小学校学習指導要領への繋がり』というテーマで講演して頂きました。

前半は木下先生から、幼稚園で培ったものが小学校ではどのように繋がり育っていくのか、また連携の重要性についてのお話を頂きました。小学校の先生から見た幼児教育の捉え方を幾つかの例を挙げながらお話し頂き、連携を図って行くためには、遊びの中の学びをしっかりと捉えて小学校側に伝えていく事が重要である。その為には、子どもの姿や会話から学びの場面の事実を記録していくことが重要になるとのお話でした。

後半はパネラー 木下先生、磯島先生・コーディネーター 札幌市私立幼稚園連合会副会長の丸谷 雄輔氏で小学校と幼稚園それぞれの立場からの幼小連携についてパネルディスカッションを行いました。小学校の生活科のカリキュラムが生きたものになるよう、幼稚

園側も進んで小学校に赴いて、互いに授業や保育の見学をしたり、意見交換をしたりする時間を作り、意識を共通にしていく事が大切であること。また、小学校に求めるだけではなく、遊び込める子どもは小学校に行っても学び込める子どもになるという事を忘れずに、日々の保育で子どもの遊びを詳細に評価していくことの大切さを話し合われました。参加された先生達は普段あまり聞けない小学校側からのお話に興味を持たれていました。また、連携の根本である、学びと遊び、子どもの成長の共通理解について学べた貴重な時間となりました。



第3回乳幼児保育研修会

第3回乳幼児保育研修会が2月6日(火)にかでる2・7にて行われました。「知って得する2歳児保育から3歳児保育への繋がり」と題し、パネラーとして幼保連携型認定こども園せいめいのもり、厚別さくら木保育園、東橋いちい認定こども園の3園の先生方が、それぞれの園での2歳児と3歳児の保育実践と課題を発表してくださいました。

写真や映像を通して2歳児と3歳児それぞれの生活の様子が紹介され、年少組への進級に戸惑いがないよう乳児部と幼児部が交流できる機会をつくったり、1号認定と2号認定の子ども達が互いに安心して園生活を送れるように進級する際にはクラス編成に配慮したり、保護者に対しても1号と2号でおたよりを分けて発行したりと細やかな配慮がなされていることがわか

りました。

今一度、年齢別の発達段階や育ちをしっかりと学び保育に生かしていくことが、新制度に移行した幼稚園・認定こども園、現行通りの幼稚園すべてに共通することを改めて感じた研修会でした。



第2回札幌幼児教育セミナー

2月19日(月)にかでる2・7にて第2回札幌幼児教育セミナーが行われました。今回は、「どう考える？幼稚園教育要領改訂の捉え方」とテーマを掲げ、間近に迫った平成30年度の教育要領改訂について、3人の養成校の教員及び研究者の先生方から改訂をどのように捉えたら良いのか？また大切にしていきたいポイントなどをお話して頂きました。藤女子大学人間生活学部保育学科准教授 高橋真由美先生からは、なぜ改訂が必要なのかという点を取り上げながら、改訂の主旨、幼児教育で育みたい3つの柱などの要点をわかりやすく説明して頂き、10の姿では、到達目標ではなく子どもを理解するためのツールとして子どもの具体的な姿を話し合うことが大事だということをお話されました。札幌国際大学人文学部心理学科講師 木村彰子先生からは、「幼稚園教育要領の改訂をチャンスにしよう」という事で保育を見直すチャンス、世の中や小学校に保育の専門性を伝えて行くチャンスと考え、改訂の為に特別に変えようとするのではなく、見直していく過程で新しいことを見つけたり職員間で考え話し合う時間が必要な事だと捉えて欲しいとありました。北海道大学大学院教育学研究院准教授 川田学先生は発達心理学からみる新・教育要領について研究者の視点での捉え方のお話がありました。新要領では小学校との接続の強化を中心として構成されているのでベストな接続とは？小学校が楽しみになるような接続とは？など今後の課題にも繋がるお話を頂きました。また、私達保育者に伝えたい事として、幼児期に大切にしたいこと

を考える時に文献を通して深めて行く方法や10の姿をチェックリストにして子どもを評価してはいけない事など、気をつけなければならない点をわかりやすく教えて頂きました。最後には、札幌ゆたか幼稚園 丸谷園長がコーディネーターとなり3人の講師の先生方とパネルディスカッションを行いました。3人の講師の方々は、保育者の多忙さを理解している上で、無理せず楽しめるような取り組み方や時間をかけて子どもを見つめ直しながら過ごしていけるようにと助言を頂き、改訂に向けての道しるべになるようなセミナーとなりました。



おすすめ

第3回

マッキーの文房具

とめる

マックス

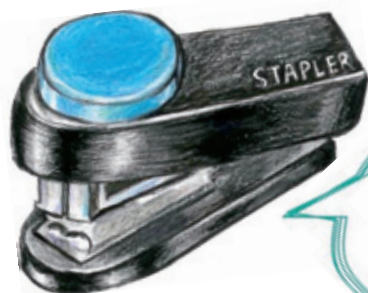
Colorgimic
STAPLER

ホチキスも仕事には欠かせない文房具。ただ、大きいホチキスは持ち運びには邪魔くさい・・・。

ちょっと使いたい時にさっと筆入れから出せる、コンパクトでスリムなホチキスが、こちら！！

ボディを開いてボタンをスライドしたら準備OK！小さいサイズながら10枚を留めることができるパワーを持っています。使い終わったら、またボタン部分をスライドして戻し筆入れに。

私はボタン部分に好きなシールを貼って自分流にカスタマイズしています。

ブルー
ピンク
イエロー

ヤマト CHIGIRU

今回はまた違った付箋を紹介！！こちらは、5mm単位のマシン目がついており好きな幅、長さにあわせて使うことが出来る半透明フィルム付箋。全面に糊がついており、ピタッと貼れて、しかも後からはがせる！！

メモを書くのはもちろん、スケジュールをカラフルにしたり、マーカー代わりに長くちぎってしるしをつけたり、インディックスもカスタマイズできます！

ありがとうございました！



おすすめ文房具コーナーを始めて今回で3回目になります。以前からお話ししていますが、“文房具が大好き！”な私は、文房具の言葉を聞くだけでドキドキワクワクしてしまいます。文房具の魅力は何なのか？と考えてみた時に一つ目に『機能的』なところだと思います。最新で様々な技術が取り入れられており、感心させられることが沢山！

二つ目は、『思い出』。小学校時代から生活を共にしている文房具には、その時その時の懐かしさや思い出がよみがえります。

最後はやはり文房具に込められた熱い『想い』を感じるからなのだと思います。今回も3つの文房具を紹介させていただきます！

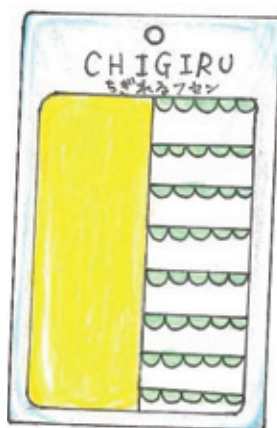
かく

マルハン

パッドホルダー

セプトクルール B5

ルーズリーフも仕事で使うことがよくあるのではないのでしょうか？袋入りのタイプは出すときに何枚も出してしまったり、端がいつの間にか折れてしまっていたり・・・こちらのルーズリーフはレポート用紙のように台紙についており、1枚ずつはがして使います。また、パッドホルダーがあるので最後まで紙を傷めず綺麗に取り出せる！そして、ホルダーの内側には、ポケットが付いているので書いたものを収納し、後でファイルにとじることができ便利です！サイズはB5、A4、幅も6mm・7mmと選べます！！



↑ レース・蛍光・キャンディーカラーシリーズもあります！！

↑ ピンク・グリーン・ライトブルーの三色あります！！



連 台 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(11月以降・予定を含む)

- 11月 7日(火) 振興委員会
- 11月 8日(水) 研究委員会
- 11月 9日(木) 札幌市への予算要望書・SS運動署名簿手
交式(市長会議室)
- 11月10日(金) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会運営
委員会(さいたま市)
- 11月10日(金) 特別支援学級授業公開・交流研修(各区
~12月12日(火) 小学校)
- 11月14日(火) 認定こども園委員会
- 11月15日(水) 全日政令指定都市特別委員会研修会(東
京都)
- 11月21日(火) 乳幼児保育研修会(かでる2・7)
- 11月27日(月) 総務委員会
- 11月30日(木) 特別支援教育研修会講演(エルプラザ)
- 12月 6日(水) 広報委員会
- 12月 6日(水) 認定こども園委員会
- 12月12日(火) 総務委員会・理事会
養成校懇談会(札幌ガーデンパレス)
- 12月18日(月) 振興委員会

平成30年

- 1月22日(月) 総務委員会・理事会
永年勤続表彰・新年交礼会(札幌ガーデ
ンパレス)

- 1月26日(金) 札幌市子ども未来局新年度事業打合せ
- 1月26日(金) リーダー“力”スキルアップ講座(エル
プラザ)
- 2月 1日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会さい
~2日(金) たま協議会
- 2月 6日(火) 乳幼児保育研修会(かでる2・7)
- 2月 7日(水) 研究委員会
- 2月 8日(木) 振興委員会
- 2月16日(金) 広報委員会
- 2月19日(月) 札幌幼児教育セミナー(かでる2・7)
- 2月20日(火) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時
総会(札幌ガーデンパレス)

〔平成30年度の主な予定〕

- 5月18日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定
時総会(札幌ガーデンパレス)
- 7月 3日(火) P連ふれあい交流会
(真駒内公園屋内競技場)
- 9月30日(日) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)
- 10月19日(金) 教育研究大会 公開保育研修・分科会
- 10月20日(土) 教育研究大会 全体会
(札幌市民ホール)



コ ラ ム

平成30年つい先日新しい年を迎えたばかりと思
いきや既に2か月が過ぎようとしています。

園生活も年度の締めくくりの時期を迎え慌た
だしい毎日が続いています。

先日、お誕生会の質問コーナーで誕生児のお母
様に「〇〇ちゃんが産まれた時にどんな気持ちで
したか？」と訊ねたところ「お母さんにしてもら
えて、とても嬉しくて子育て頑張ろうと思いま
した…」との答えが返って来ました。普段とても口
数が少なく必要以上のことはあまり語らないお母
様の言葉に、お母さんにしてもらえた嬉しさ・こ
の子を頑張って育てよう…その大切なお子さんの
先生として向き合える事の喜びや大切さを忘れて
はいけないと痛感致しました。日々の生活の中
で何気ないことに教えられ、教わり、教えること
より教わることの方がはるかに多いと最近では
感じます。また新しい出会いの季節がやって来
ます。この出会いを大切に子ども達、そして保
護者の方達と一緒に心磨きの旅を続けてゆけれ
ば そんな風に思います。

今年度の札私幼広報誌も最終号となりました。
平成29年度も就職フェアを始めとした札私幼の
広報活動に会員園の皆様にはたくさんのご理解
とご協力をいただきました。本当にありがとうござ
いました。
(広報委員・米永 桃子)

広報委員会

担当副会長	藪 淳一(大通幼稚園)
委員長	太田 真理(しろいし幼稚園)
副委員長	大村 紋子(札幌みづほ幼稚園)
委員	鈴木 眞弓(美しが丘幼稚園)
委員	米永 桃子(澄川幼稚園)
委員	天保 聖子(西岡ふたば幼稚園)
委員	榎本 真樹(なかのしま幼稚園)
委員	沓澤 泰子(札幌国際大付属幼稚園)

